

サンプル送付の際の注意点とお願い

サンプル ID の記入

チューブのキャップ部分に黒の油性ペンでサンプルIDをご記入ください。
サンプルIDが長いと文字が小さくなり読み取りにくくなりますので、6文字程度まででお願いいたします。

- シールははがれることがありますので油性ペンで直接ご記入ください。
- パラフィルムははがすときに文字が消えてしまうことがありますので貼らないでください。

サンプルの梱包

輸送中にサンプル同士が接触しチューブが破損したり、液漏れしてしまう場合がございますので、
梱包の際はチューブを仕切りのある箱に立てて入れてくださるようお願いいたします。

- 液漏れ防止のため、チューブのキャップが締まっているか（緩んでいないか）今一度ご確認ください。
- 外箱との間には保冷剤（冷凍の場合はドライアイス）を入れてください。
- 隙間がある場合は緩衝材を使用して動かないように固定してください。
- 数が少ない場合も可能な限り上記の“仕切りのある箱に立てて入れる”梱包をお願いしたく存じますが、やむを得ずポリ袋を使用される場合は、破損時のコンタミ防止のため、ジッパー付きポリ袋を使用しサンプル毎個包装にし（1サンプル1ポリ袋）、その周りを緩衝材で包んでから外箱に入れてください。
- 過去にチューブ破損の事例がございますので、液体サンプルは必ず立てた状態で固定してください。

サンプルの送付先

平日の午前中指定・クール便で下記の住所までご送付をお願いいたします。

日本ジェネティクス株式会社 営業部宛
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階
TEL：03（3813）0961 FAX：03（3813）0962

- 室温保存可能なサンプルも必ずクール便（冷蔵便）でご送付ください。
- 冷凍を要するサンプルはクール便（冷凍便）をご指定ください。
- 到着日前日までに着日と送り状番号のご連絡をお願いいたします。

その他

ヒト糞便を送付の際は大体の糞便量を前もって測定し、送付時の形態をお知らせください。

- サンプルあたりのDNA抽出の至適量は0.2～0.3g程度です。
- RNA later 保存便の場合は、付属のスプーンすりきり1杯が至適量です。
- RNA later 保存時には便をRNA later にしっかりと攪拌してから蓋をしてください。

